富良野市第6次総合計画 数字から観る富良野市ver1.0

有識者会議_令和2年度:2020年7月31日__別紙

- 1. 人口メカニズム
- 2. 経済循環・稼ぐ力
- 3. 財政
- 4. 地域包括ケア
- 5. 市民の声
- 6. 社会の変化

1.人口メカニズム

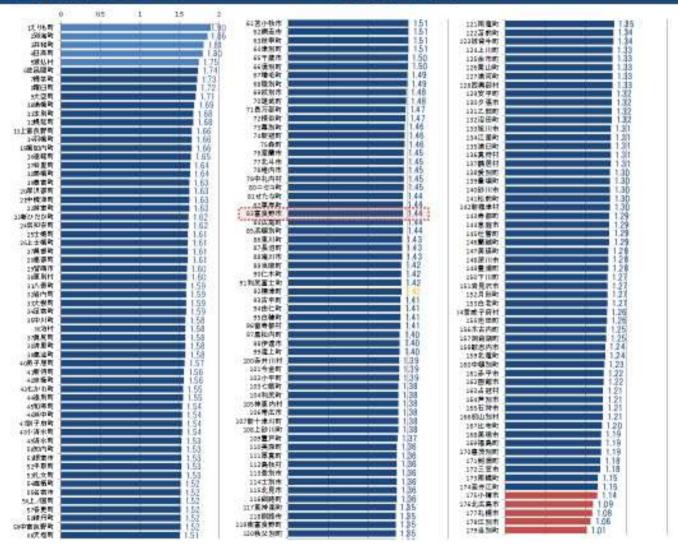
「合計特殊出生率の直近5年平均は約1.45」

富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理表(重要業績評価指標達成度一覧)

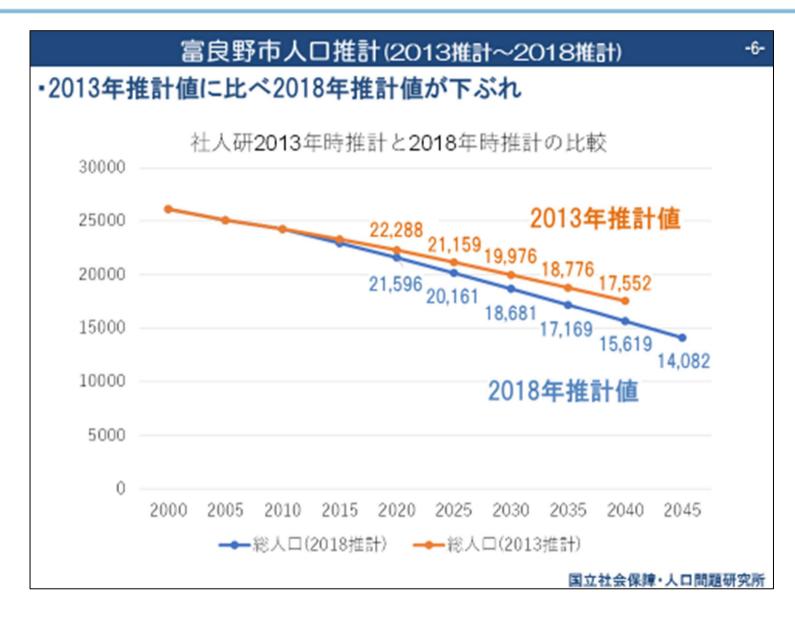
į	基本戦略①「ひと」をつなぐ富良野戦略															
ı	Г	重要業績評価指標(KPI)	数値目標	実績値											担当課	
ı	L			H27	達成度	H28	達成度	H29	達成度	H30	達成度	R1	達成度	R2	達成度	担目味
ı		1 合計特殊出生率	1.44 ⇒ 1.80	1.53	85%	1.37	76%	1.49	83%	1.60	89%	1.33	74%			出会い総合サポート室

「合計特殊出生率が高い地域(1.7以上)の特徴は、 安定した収益かつ後継者が見込める1次産業中心の地域。」

合計特殊出生率 H2O~24年[富良野市]厚生労働統計一覧人口動態統計特殊報告-38-

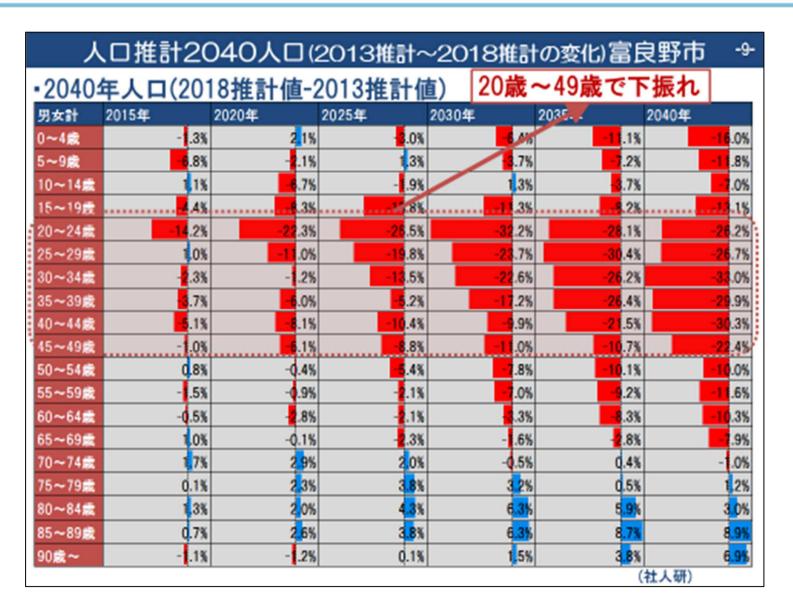


「2013年推計値に比べ2018年推計値が下ぶれ」

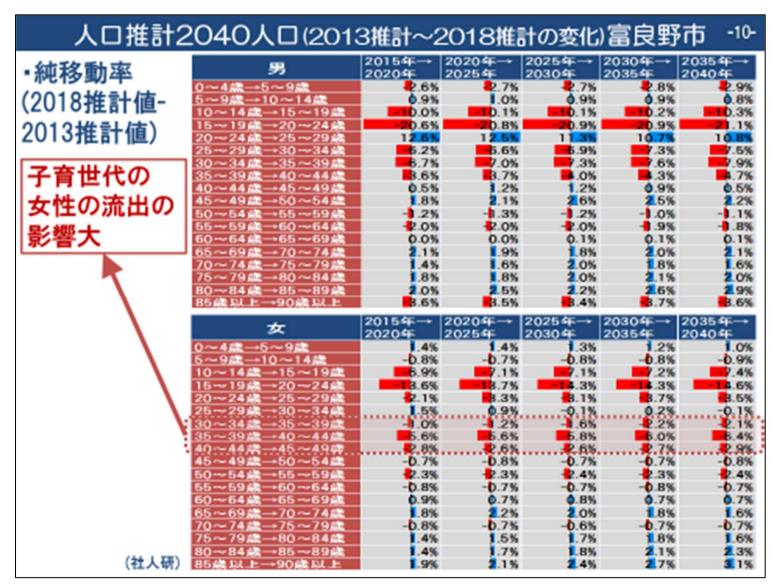


【人口】

「特に、人口減少は20歳~49歳で下ぶれ」



「純移動率は、30代~40代の女性流出が影響大」



「人口推計において、出生率は高くなったが、子育て世代の転出により出生数は小さくなる」

人口推計2040人口(2013推計~2018推計の変化)富良野市 -11

•女性子供比推計値(出生率推計値)(2013、2018推計値)

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
2013年時社人研推計	0.18762	0.17484	0.17422	0.17875	0.18312	0.18380	
2018年時社人研推計		0.19251	0.19195	0.19824	0.20228	0.20271	0.20155

2013年推計より2018推計の方が、出生率は高くなった

•出生数推計値(2013、2018推計値)

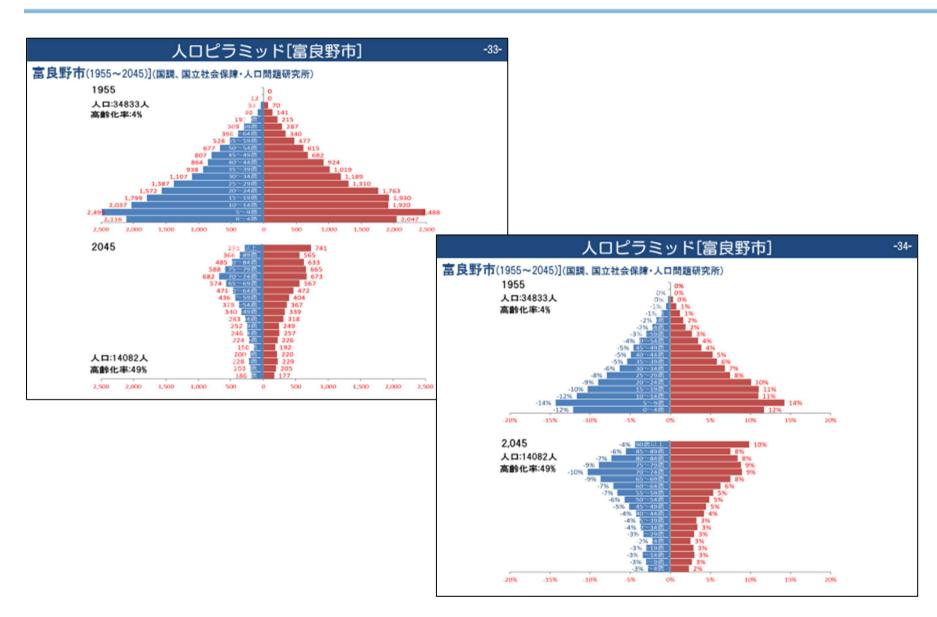
男女計	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	
2013年時社人研予測	0~4歳	826	705	625	577	540	499
2018年時社人研予測	0~4歳	815	720	606	540	480	419
差の割合2013年時予測に	対する割合	-1.3%	2.1%	-3.0%	-6.4%	-11.1%	-16.0%

2013年推計より2018推計の方が、出生数は小さく ・出生率が上がったが、子育て世代女性の転出が多かったため

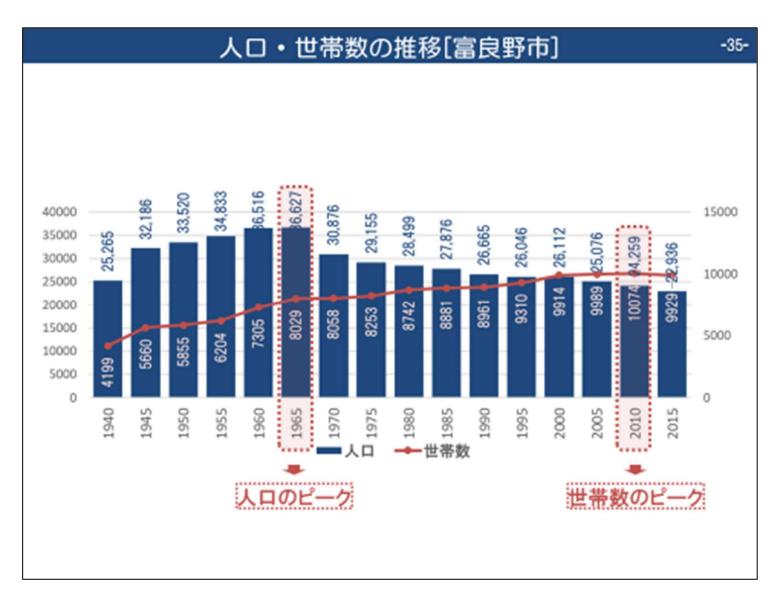
(社人研)

【人口】

「1955年→2045年 人口の年齢別構成比率の大きな変化」



「人口のピークは1965年、 世帯数のピークは2010年」

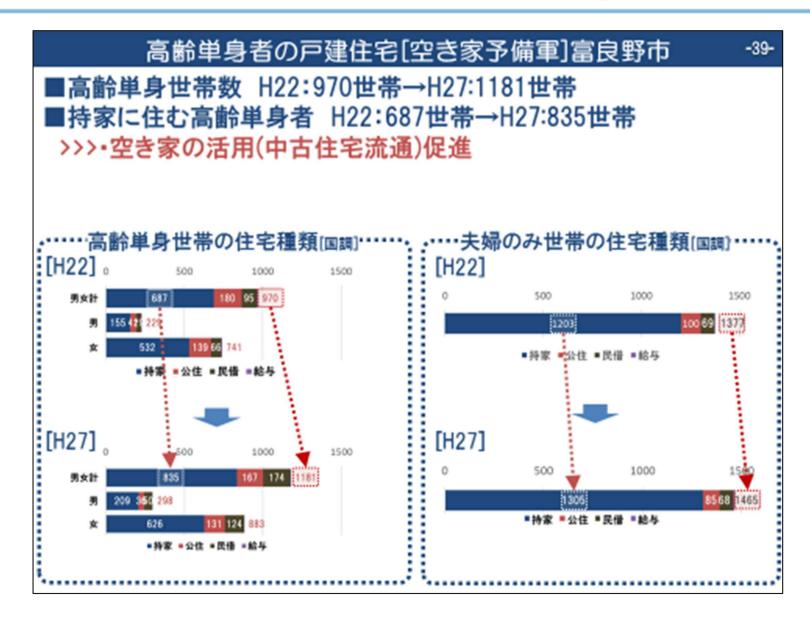


【人口】 「高齢化率は上昇し続け、高齢者数のピークは2025年」

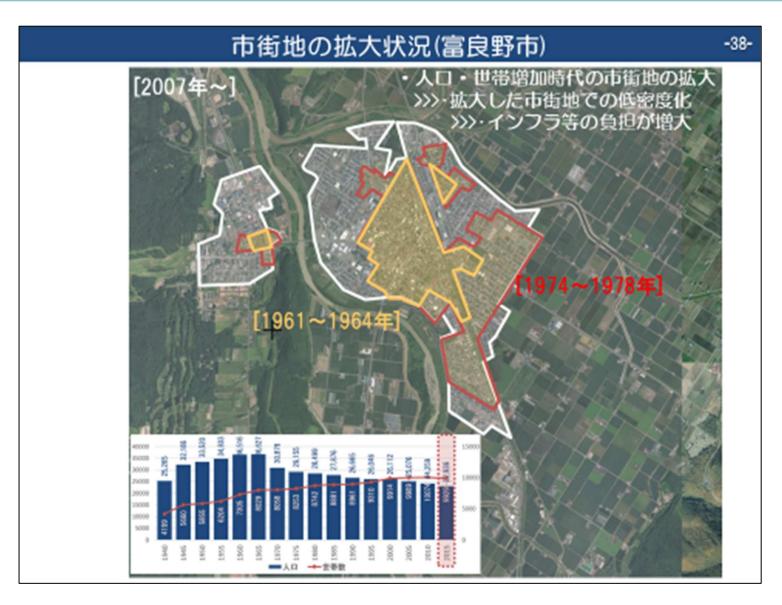


【人口】

「高齢単身世帯数、持家に住む高齢単身者の増加 →空き家予備軍の増加」

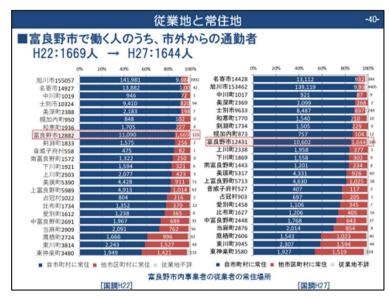


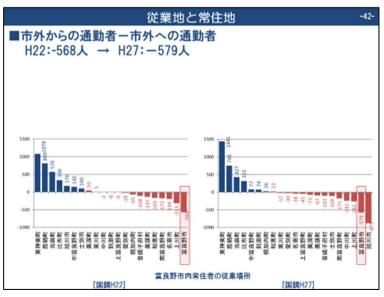
「人口・世帯増加時代に市街地が拡大したが、 低密度化が進み、インフラ等の負担が増大」



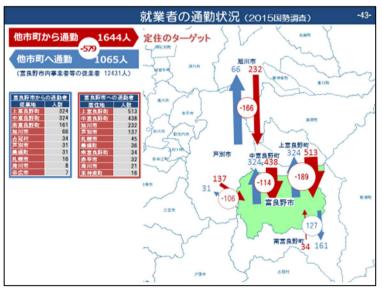
【人口】

「富良野圏域として、 近隣市町村より労働力人口が還流」





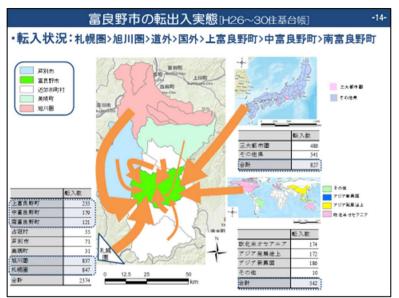


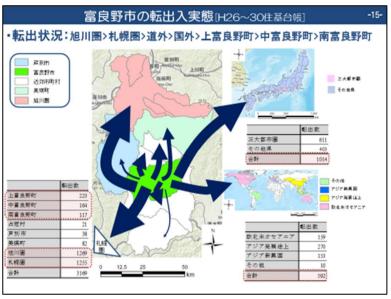


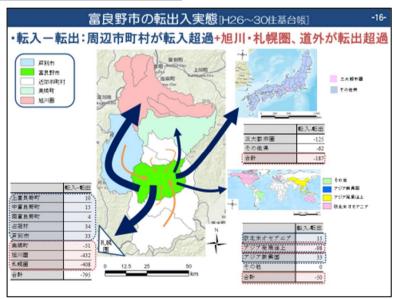
※参考資料:道総研「富良野を読む」

【人口】

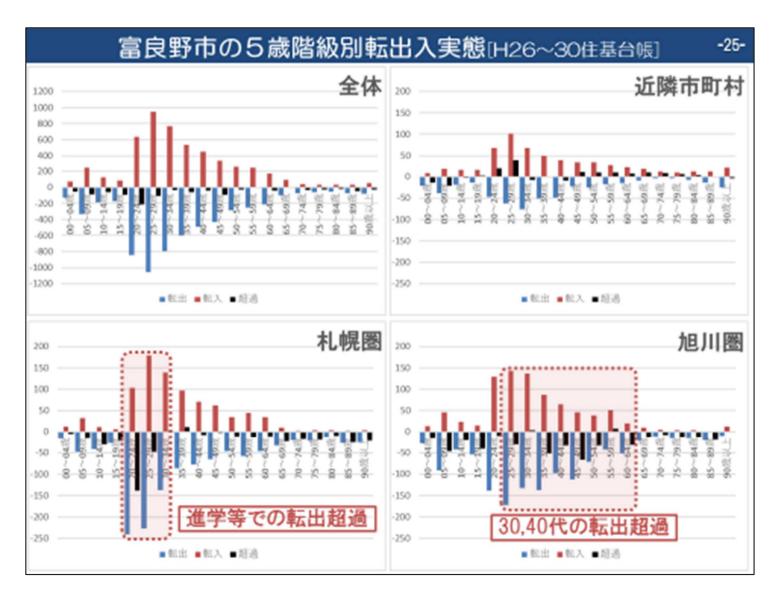
「周辺市町村から転入超過、旭川圏・札幌圏・道外に転出超過」





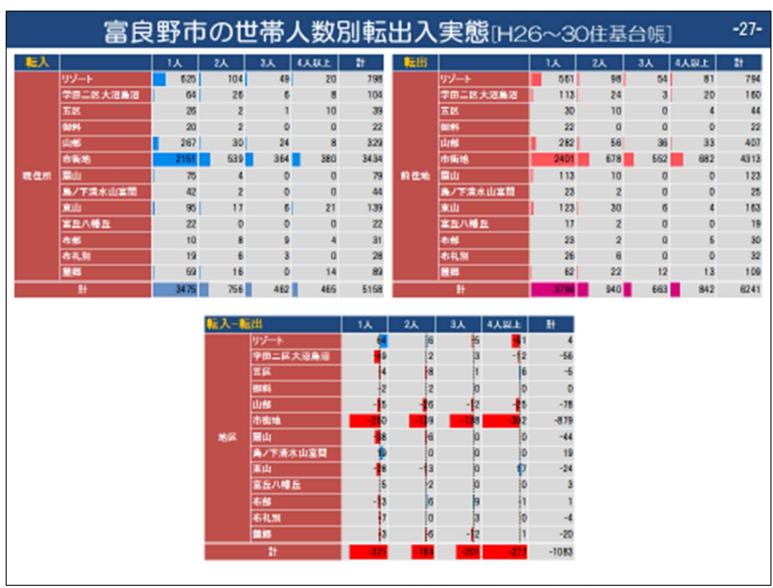


「札幌圏へは若年層、 旭川圏へは30~40代が転出超過」

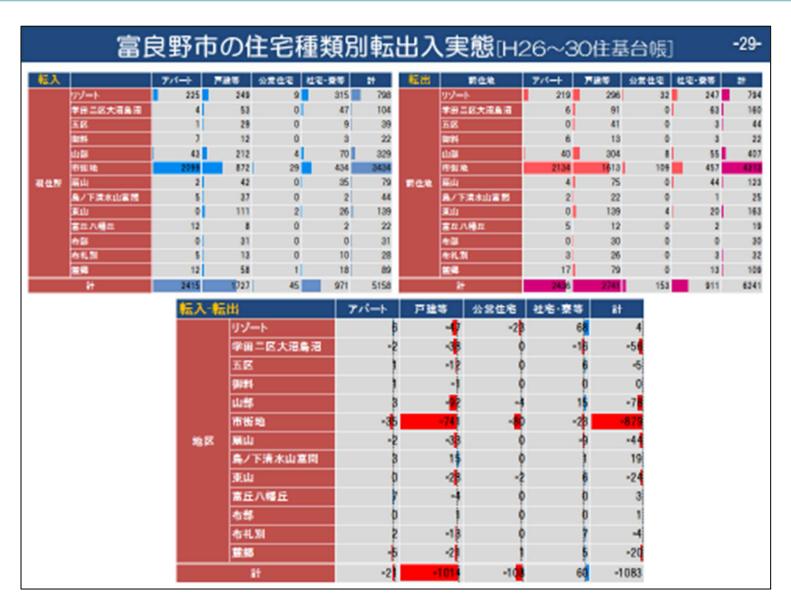


【人口】

「市街地を中心に単身者の異動が多い」



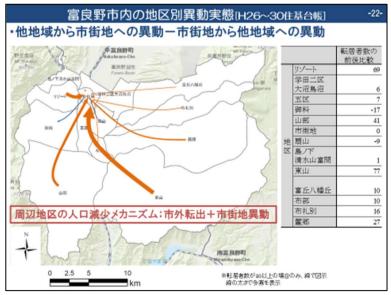
【人口】 「アパートの異動は均衡、戸建の異動は世帯分離を想定」

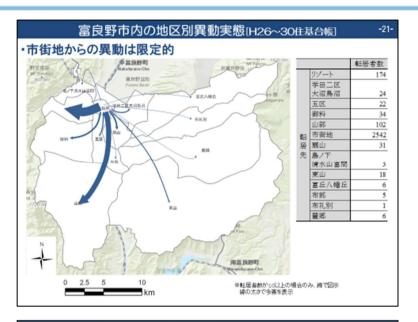


【人口】

「農村地区から市街地へ人口が流入」







///	·周辺地区(
	市外との転	コ人出力										
			地区外からの転居 地区外への転居									
		地区内 移動	21	市街地 から	市街地外から	21	市街地へ	市街地外へ	入一出			
	リゾート	175	209	174	35	274	243	31	-6			
	学田二区大沼鳥沼	4	34	24	10	44	30	14	-1			
	ME	4	23	22	1	33	29	4	-1			
	御料	11	40	34	6	20	17	3	2			
	印象	130	153	102	51	190	143	47	-3			
	市街地	2542	631	0	631	426	0	426	20			
地区名	兩山	4	73	31	42	36	22	14	3			
	島ノ下漕水山富間	1	10	3	7	6	4	2				
	東山	51	31	18	13	140	95	45	-10			
	富丘八幡丘	0	6	6	0	19	16	3	-1			
	布部	3	10	5	5	30	15	15	-2			
	布礼別	4	6	1	5	18	17	1	-1			
	業郷	18	12	6	6	53	33	20	-4			

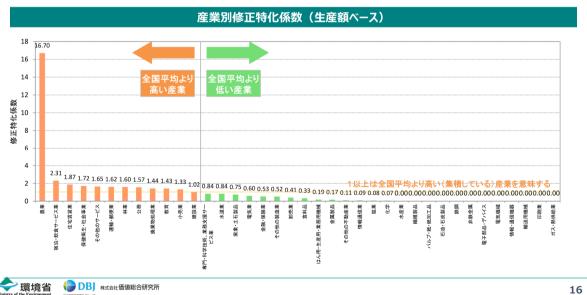
2.経済循環・稼ぐ力

「労働生産性は、1457位/1719市町村 1人当たり所得は、1352位/1719市町村」

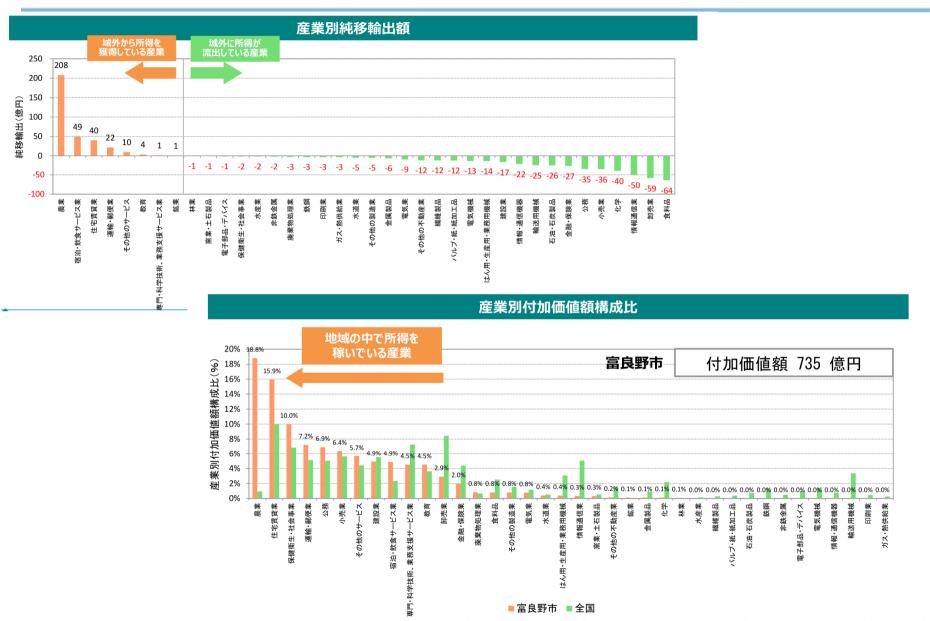


「生産額のウェイト: ①農業②住宅賃貸業③保健衛生・社会事業④宿泊・飲食サービス 全国比較で得意としているのは、①農業②宿泊飲食サービス③保健衛生・社会事業等である」



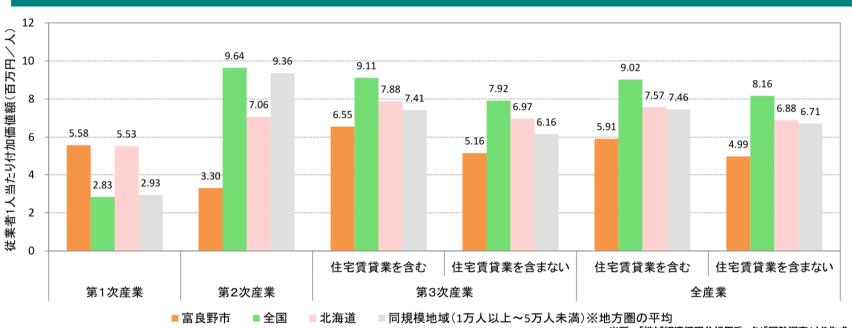


域外から所得を獲得している産業:①農業②宿泊・飲食サービス③住宅賃貸業④運輸・郵便。 地域内での付加価値創出:①農業②住宅賃貸業③保健衛生・社会事業④運輸・郵便⑤公務



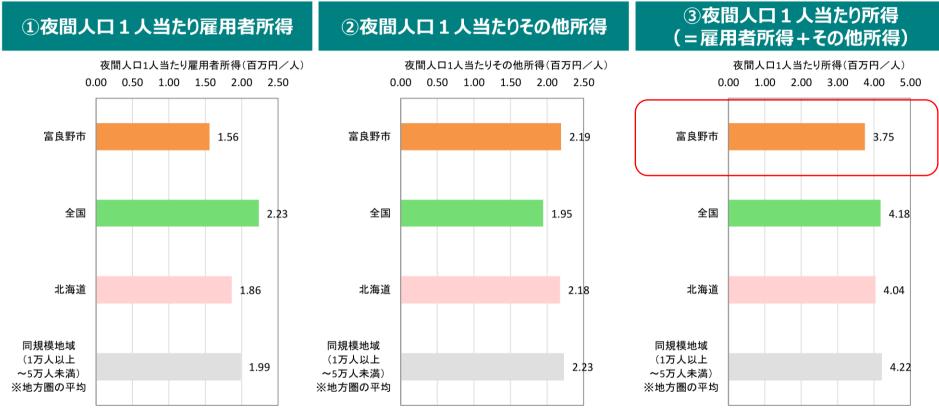
富良野市の労働生産性(1人あたり付加価値額)は、第1次産業が高い水準だが、 第2、第3次産業では、全国・道・人口同規模地域といずれと比較しても低い。







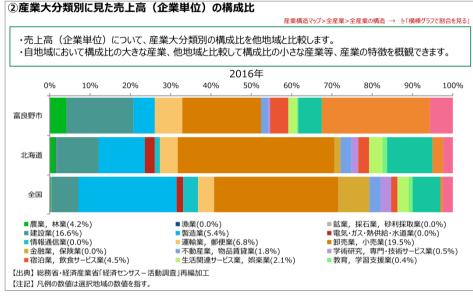
富良野市の一人当たりの所得は、 全国・道・人口同規模地域のいずれと比較しても低い水準。

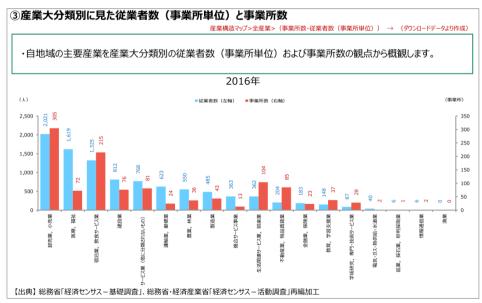


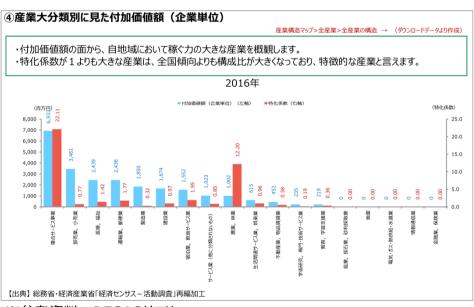
注1)雇用者所得は、地域内の生産活動によって生み出された付加価値のうち、労働を提供した雇用者への分配額である。 注2)その他所得とは雇用者所得以外の所得であり、財産所得、企業所得、財政移転(交付税、補助金等)等が含まれる。

参考









※参考資料: RESASサマリー

3.財政力

【財政】

財政力は各種指標として道内でも平均以上であるが、 「経常収支比率」及び「ラスパイレス指数」は道内他自治体順位が低い

地方財政マップ>自治体財政状況の比較 → %「目的別歳出を見る」

80%

■民生費(31.3%)

■労働費(0.2%)

■商工費(3.92%)

15條未満人口

1人あたり児童福祉費

15-64歳人口

1 人 おたり商工器

15歳未満人口

1人 あたり教育機

100%

60%

40%

65歳人口 1 人あたり参 人福祉費

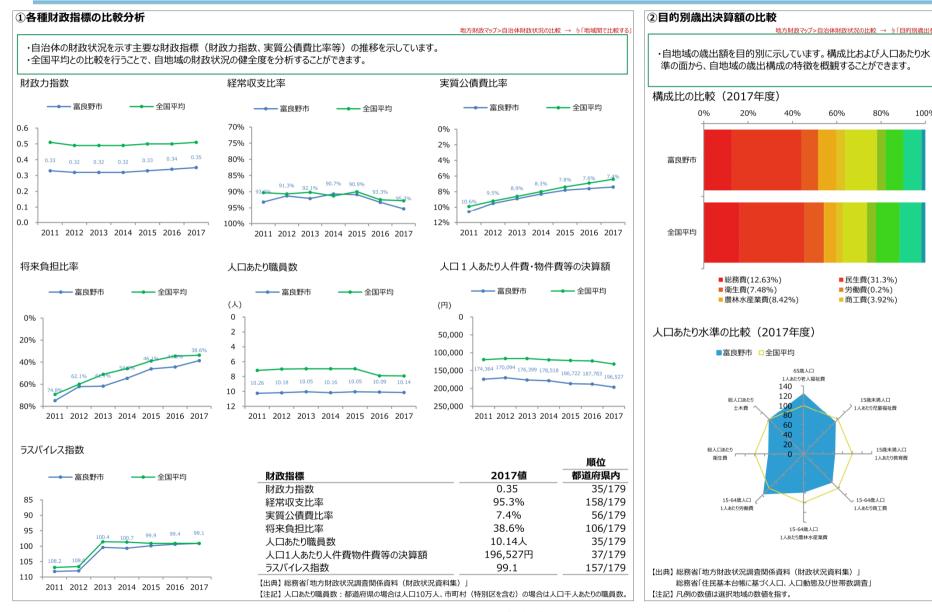
15-64歳人口

1人あたり農林水産業費

140

120

60 40 20



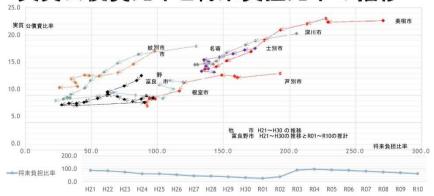
※参考資料: RESASサマリー

【財政】

新庁舎建築後、将来負担比率は一時的に増加するが、減少予定。 財力指数は0.35で推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度
市 税	26億 3万円	26億 802万円	24億6,724万円	24億7,485万円	24億7,455万円	24億5,475万円	24億3,511万円	24億1,563万円	23億9,631万円	23億7,713万円
地方交付税	48億2,446万円	49億2,324万円	47億9,183万円	48億1,608万円	47億5,415万円	46億9,584万円	47億5,856万円	48億 223万円	47億8,469万円	48億1,045万円
市 債	8億7,786万円	18億3,390万円	44億1,560万円	12億4,870万円	7億4,830万円	7億4,800万円	6億1,600万円	7億円	7億円	7億円
その他収入	53億1,052万円	76億9,822万円	61億8,750万円	58億3,197万円	49億8,266万円	50億 309万円	49億9,465万円	46億1,150万円	46億2,363万円	46億 788万円
歳入合計	136億1,287万円	170億6,338万円	178億6,217万円	143億7,160万円	129億5,966万円	129億 168万円	128億 432万円	125億2,936万円	125億 463万円	124億9,546万円
義務的経費	57億7,073万円	60億7,836万円	61億9,434万円	62億2,089万円	61億3,826万円	60億5,790万円	61億5,165万円	61億4,776万円	60億9,704万円	61億 426万円
投資的経費	22億5,282万円	25億8,644万円	61億 628万円	24億6,525万円	11億 320万円	10億7,062万円	9億5,796万円	9億3,786万円	9億8,697万円	9億9,313万円
その他支出	55億8,932万円	83億9,858万円	55億6,155万円	56億8,546万円	57億1,820万円	57億7,316万円	56億9,471万円	54億4,374万円	54億2,062万円	53億9,807万円
歳出合計	136億1,287万円	170億6,338万円	178億6,217万円	143億7,160万円	129億5,966万円	129億 168万円	128億 432万円	125億2,936万円	125億 463万円	124億9,546万円
標準財政規模	78億2,908万円	79億9,377万円	79億1,822万円	78億3,286万円	77億8,880万円	77億3,797万円	77億7,199万円	77億9,395万円	76億8,889万円	77億1,727万円
市債残高	114億7,671万円	123億1,933万円	158億5,22万円	162億1,605万円	158億7,745万円	156億1,879万円	151億4,598万円	146億9,833万円	142億7,333万円	138億1,260万円
積立金現在高	25億円	24億円								
実質公債費比率	7.1%	7.0%	7.6%	8.4%	8.8%	8.2%	7.8%	8.1%	8.7%	9.0%
将来負担比率	27.4%	38.8%	90.0%	96.8%	91.6%	87.7%	81.2%	74.9%	69.6%	62.8%
財政力指数	0.359	0.363	0.358	0.355	0.351	0.353	0.354	0.353	0.351	0.350

実質公債費比率と将来負担比率の推移



※参考資料:富良野市の財政状況:これまでの決算とこれからの予算(R2.7)

【財政】

ふるさと納税受入額は、H28→H30で減少 他自治体と比べ、大幅に余地がある

自治体名		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	H26	H27	H28	H29	H30	H28→H3	0
		金額	金額	金額	金額	金額	RANK	RANK	RANK	RANK	RANK	金額	RANK
北海道	森町	580	32,251	806,100	2,980,582	5,908,852	156	75	6	2	1	5,102,752	1
北海道	根室市	3,260	1,290,102	3,307,434	3,973,346	4,957,077	95	2	1	1	2	1,649,643	5
北海道	八雲町	52,311	340,808	1,147,557	1,429,680	3,681,122	21	11	3	6	3	2,533,565	2
北海道	白糠町	2,055	159,034	817,553	1,855,610	3,213,510	116	27	5	3	4	2,395,957	3
北海道	紋別市	74,335	106,112	251,541	1,026,375	2,148,218	15	37	29	8	5	1,896,677	4
北海道	上士幌町	957,169	1,536,559	2,124,829	1,666,930	2,085,441	1	1	2	4	6	(39,388)	167
北海道	網走市	57,579	593,311	735,429	644,915	1,455,305	19	3	7	10	7	719,876	7
北海道	寿都町	70	203,687	718,589	1,332,661	1,142,522	178	20	8	7	8	423,933	11
北海道	稚内市	3,501	265,629	1,075,437	1,547,284	1,060,433	91	14	4	5	9	(15,004)	149
北海道	厚真町	93,077	147,343	211,800	208,034	944,087	12	30	31	41	10	732,287	6
北海道	当別町	114,546	524,693	583,894	464,788	871,215	10	5	10	13	11	287,321	18
北海道	滝川市	9,452	102,363	118,195	183,393	812,373	61	40	51	44	12	694,178	8
北海道	釧路市	9,377	42,654	293,861	417,664	781,641	63	68	23	18	13	487,780	9
北海道	岩見沢市	17,554	20,042	194,220	444,210	631,161	42	91	36	16	14	436,941	10
北海道	安平町	24,416	289,582	308,458	379,350	605,426	38	13	21	21	15	296,968	16
北海道	旭川市	41,834	103,494	182,256	230,240	596,161	25	39	40	38	16	413,905	12
北海道	秩父別町	2,365	148,835	147,383	179,356	559,705	113	28	47	45	17	412,322	14
北海道	池田町	42,583	231,372	431,317	628,266	531,742	24	16	14	11	18	100,425	39
北海道	浦河町	2,726	366,540	460,863	390,218	508,937	105	8	13	20	19	48,074	58
北海道	札幌市	200,533	106,100	364,428	331,472	505,546	3	38	18	26	20	141,118	30
北海道	美瑛町	8,824	72,368	83,493	84,756	129,552	65	53	70	78	65	46,059	61
北海道	中富良野町	400	480	123,198	112,884	128,460	161	171	50	68	66	5,262	106
北海道	上富良野町	5,640	6,419	4,179	66,797	107,424	78	120	161	88	72	103,245	37
北海道	富良野市	872	1,725	58,403	68,216	48,702	144	149	79	87	114	(9,701)	144

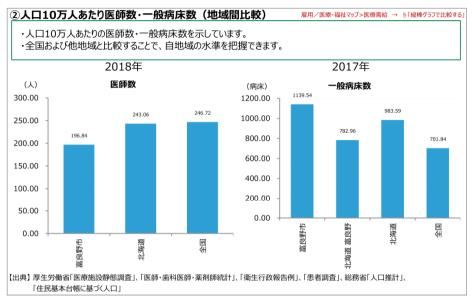
※参考資料:総務省各自治体のふるさと納税受入額及び受入件数(H20~H30年度)を基に作成

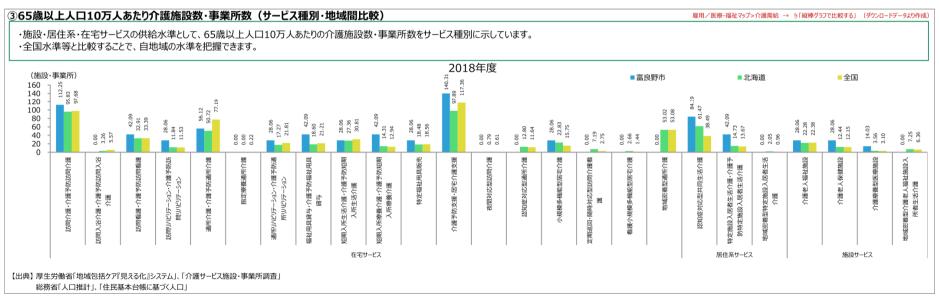
4.地域包括ケア

【地域包括ケア】

「人口10万人あたりの病床数·介護施設数は他自治体平均よりも多いが、 同医師数は少ない。要介護支援1·2が増加している」







※参考資料: RESASサマリー

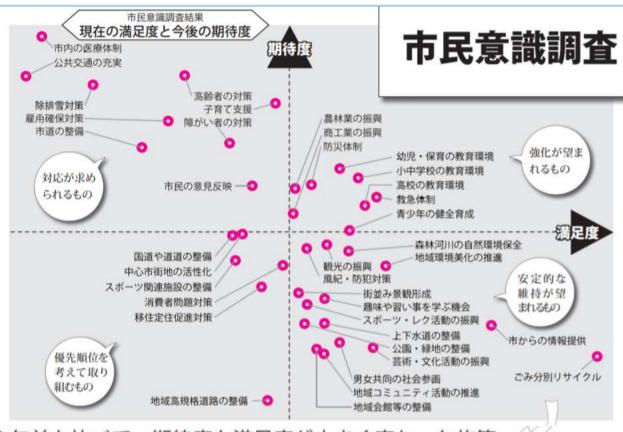
5.市民の声

「富良野にはたくさんの魅力が。 各エリアごとにそれぞれの可能性と不安が。」



※※参考資料:市民ワークショップ ハーベストレポート ※広報3月号掲載(2020)

満足度低い×期待度高い:「医療体制」「公共交通機関の充実」「除排雪対策」 「市道の整備」「雇用確保対策」「高齢者の対策」「市民の意見反映」など



10年前と比べて、期待度と満足度が大きく変わった施策

	期	诗度	か	高	くな	つけ	た施策
a 4	-	rober A.ES	14.	Sher	de em	ultida de	+

1位	高規格道路の整備	
2位	公共交通機関の充実	
3位	市内の医療体制	
4位	防災体制	
5位	国道や道道の整備	

満足度が大きくなった施策

1位	雇用確保対策
2位	中心市街地の活性化
3位	青少年の健全育成
4位	農林業の振興
5位	幼児・保育の教育環境

満足度が小さくなった施策

1位	市内の医療体制
2位	公共交通機関の充実
3位	除排雪などの雪対策
4位	市道の整備
5位	国道や道道の整備

※参考資料:市民意識調査 ※広報3月号掲載(2020)

「30年後の未来像: ①交通の利便性②農業の持続的経営環境③子育て環境 ④雇用機会⑤富良野市独自の豊かさ⑥環境にやさしい街 ⑦魅力を活かした事業創造⑧人のつながり⑨高齢者の活躍、などを求める。」

30年後の未来像 (複数回答)

55%

車がなくても 不便しない生活環境

1位	車を持たなくても生活に不便を感じない 生活環境が整っている。	55%
2 位	多様で魅力的な農業経営がなされ、後継 者や新規就農者が増えている。	47%
3位	安心して子育てできる環境が整い、地域 で子どもを大事に育てている。	46%
4位	雇用機会が十分あり、暮らしに困らない 程度の所得が得られている。	43%
5位	大都会的な便利さではなく、富良野市独 自の良さにより豊かに暮らしている。	41%
6位	ごみ分別やリサイクルが進み、環境にやさ しいまちになっている	39%
7 位	富良野の魅力を活かした新しい事業に挑 戦する人が増えている。	38%
8位	人口は今より減るが、人のつながりや助け 合いで幸せに暮らしている。	38%
9位	お年寄りが活躍できる場があり、生きが いを感じている。	38%
10位	富良野を離れた若者が富良野の魅力に気 づき戻ってくる。	26%
11位	レジャー施設の開発が進み、観光客が多く 訪れ、まちがにぎわっている。	19%
12位	文化・スポーツが盛んに行われている。	15%
13位	AI(人工知能)や情報通信技術が、日常 生活に取り入れられている。	14%
14位	外国人移住者が多く住み、外国人との共 生が進んでいる	9%



※参考資料:市民意識調査 ※広報3月号掲載(2020)

「79%が今後も富良野に住み続けたい。」

今後の居住意向

79%

富良野に住み続けたい

今後の居住地の希望は、全体で79%(市街地74%、 市街地以外83%)の人が今後も富良野に住み続け たいと回答。その中で「住み続けたいが難しそうだ」 と回答したのは、市街地で12%、市街地以外では8% 存在し、住み続けの障壁を取り除くことが今後の課 題です。



※参考資料:市民意識調査 ※広報3月号掲載(2020)

「転出入者の6割が、仕事の都合による異動」



者 施 6 仕事の都合による転出入者が しました。 割以上 この調査 う 把握することを目的とし が仕 業別で は 都 は 転出 転出先は 公務員が最も 合による転出 入要因を直 結果では 6





※参考資料:参考資料:転出入者アンケート調査 ※広報3月号掲載(2020)

6.社会の変化

Society5.0: IoT/ロボット/AI/ビッグデータ等の新たな技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れてインベーションを創出し、一人一人のニーズに合わせる形で社会的課題を解決する新たな社会

【未来年表】

SDGs:持続可能な開発のための2030アジェンダ他:人生100年時代、働き方改革、ポストコロナなど

